

Realize the student's true happy faces

～子供たちの真の笑顔の実現に向けた太田市の取組について～

地域の
特色ある
活動

群馬県太田市教育委員会

1 はじめに

太田市は、群馬県南東部に位置し、自動車製造を中心とした全国有数の工業都市である一方、南に利根川、北に渡良瀬川という豊かな水量を誇る2つの河川に挟まれ、市街地北部に金山と、それに続く八王子丘陵がある緑豊かな地域です。また、新田義貞に代表される歴史と文化の香りも残る、新しくてレトロな街です。バスケットボールをはじめとするスポーツ観戦や様々なスポーツへの取組、スポーツ学校など、スポーツを通したまちづくりにも取り組んでいます。

太田市教育大綱では、第2次太田市総合計画に掲げられた基本理念の一つである「教育文化の向上」を推進するため、高い知性、豊かな情操と徳性、優れた創造性とたくましい意志を備えた、心身ともに健康で規律ある人間の育成、さらには歴史や伝統を守り、文化が育まれるまちづくりを目指しています。

2 子供たちの活動を支える取組

『Realize the student's true happy faces』は今年度の教育委員会のスローガンです。子供たちが勉強や部活動、学校行事等に一生懸命取り組む中で活躍し、心の底から笑顔になれるよう、活動をサポートしています。その中の取組をいくつか紹介します。

(1) 小学校水泳授業への外部講師の招聘

令和5年度より、太田市立小学校・義務教育学校第3学年の体育授業「水泳運動」について、学校のプールにスイミングスクール講

師を派遣して、児童が水泳の楽しさや喜びに触れ、潜る・浮くことなどの基本的な動きや、け伸びや初歩的な泳ぎを身に付けられるようにする取組を実施しています。

講師は、特に「水泳が苦手」と感じている児童を対象に指導を行い、該当児童以外は、これまでどおり教員が指導を行っています。



水泳指導

令和5年度は、市内小学校25校を4ブロックに分けて、各校2回の授業に講師を派遣しました。令和6年度は5ブロックに分けて、各校3回講師を派遣しています。

「水に顔が付けられない児童が、全員潜れるようになった」「け伸びが安定してできるようになった」「泳げる距離が伸びた」などの成果が挙がっています。また、児童が明るい笑顔や意欲的な表情で授業に臨んでおり、そのことが何よりの効果であると感じています。

(2) 中学校部活動指導者の派遣

令和5年度より、太田市立中学校・義務教育学校の部活動に、各種競技で全国大会出場等、優秀な実績のある市職員及び行政管理公社職員を「部活動指導者」として平日の部活動を中心に派遣しています。

部活動指導者は、顧問とともに指導を行っており、競技経験のない顧問や、人数の多い部の顧問にとっては大きな助けとなっています。また、生徒にとっては、部活動指導者から専門的な知識や技術指導、競技の心構えな

どを学べるため、とても有意義な取組となっています。

令和6年度は14校の中学校に一人ずつ配置しています。部活動指導者は、市教委で定期的に研修会に参加し、日々の部活動に生かせるよう情報交換や研修を積んでいます。

(3) 教育支援センター（適応指導教室）の充実

不登校児童生徒の社会的自立を目指し、段階的に集団生活への適応促進や学校復帰に向けて、体験活動や様々な学習に取り組んでいます。週1回ではありますが、通学バスを運行したり、出張所を開いたり、より多くの子供たちが通えるように環境を整えています。

その結果、令和5年度は70名を超える児童生徒が通室し、段階的な援助指導や学校との連携により、通室者全体の約6割の児童生徒が学校へ復帰しました。居心地の良い安心できる空間で、様々な活動を通して、子供同士や指導員とのコミュニケーションを向上させることに注力しています。また、現在、市内に3つ目の教育支援センターの開設が進んでいます。

(4) 外国人児童生徒教育の充実

現在、900人を超える外国人児童生徒がおり、うち、500人程度が日本語指導を必要としています。教員免許を持ったバイリンガル指導員や通訳や翻訳のできる支援員が市内の学校に25名おり、国際教室担当教員と連携して取り出し指導や入り込み指導、補習等を行っています。

特に日本の学校に初めて編入する外国人の子供たちに対して、初期指導教室『プレクラス』にて、40日間の集中した日本語指導や



プレクラス

学校への適応指導等を行い、学校生活に順応しやすいようサポートしています。

平成20年の開設より、現在までの16年間で400名を超す子供たちが修了しており、その後の学校での生活を送る上で、大きな役割を担っています。

さらに、小学校入学前の幼児と保護者を対象に簡単な日本語指導と小学校の生活への適応指導を行う『プレスクール』を1、2月の土曜日に5回実施しています。

このようなシステムを導入していることや、学校でのきめ細かい母語を大切にした日本語指導や学習指導、さらには「多言語による高校進路ガイダンス」を実施していることで、高校への進学率も90%で推移しています。

(5) 教育施設の充実

今年度中に、市内の小・中・義務教育学校すべての体育館にエアコンが設置される予定です。今年の夏も猛暑のため屋外で運動ができない場合の体育の授業や部活動、各種行事等が空調管理された体育館で行われています。体育の授業をしている児童からは「涼しくて気持ちいい！やる気が出る」や、部活動に取り組んでいる生徒からは「今までは休みながら練習に取り組んでいたけれど、今はそんなに暑さを気にしないでプレーに集中できる」といった意見が届いています。熱中症の心配も少なく、集会等も安心して行えるので、教育的効果は大きいと考えています。

3 おわりに

6月に太田市の新施設である『エアリススケートパーク太田』がオープンしました。敷地面積約3千平方メートルで、県内最大級の広さです。スケートボードやBMXといったストリートスポーツを気軽に競技できる場所です。子供たちをはじめとして、スポーツ活動の裾野を広げていくと同時に、ストリートスポーツを通じて積極的に人との交流を図ることで、「生きる力」と「豊かな心」を育み、太田の子供が全国、そして世界に羽ばたいていけるよう、真の笑顔の実現を目指して参ります。



教育長

恩田 由之